

経営比較分析表（平成30年度決算）

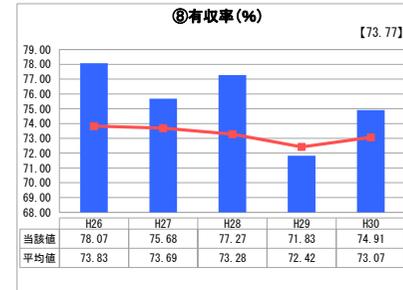
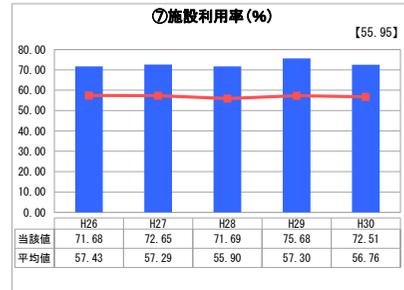
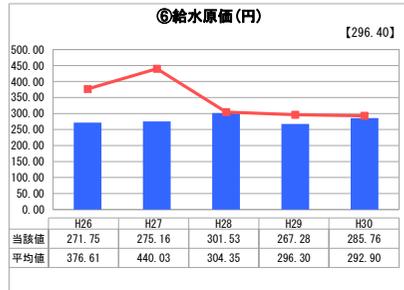
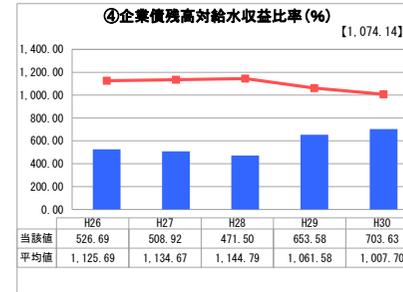
沖縄県 竹富町

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.45	3,078	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,343	334.40	12.99
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,946	49.83	79.19

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は、87.24%で類似団体平均値より上回っているが赤字となっている為、経営改善に向け取り組む必要がある。

④企業債残高対給水収益比率は、海底送水管更新整備事業の実施により対前年比で50.05%の増である。今後も老朽化施設の更新整備事業等により増える見込みである。

⑤料金回収率は、類似団体平均値より上回っており、少しずつ未収金徴収対策の効果がみえている。今後も改善を図りながら継続していく必要がある。

⑥給水原価は、285.76円と低い数値であるが、引き続き海水淡水化施設での動力費等の維持管理費の削減といった経営改善の検討を行う必要がある。

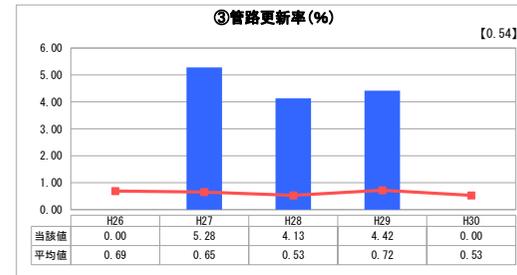
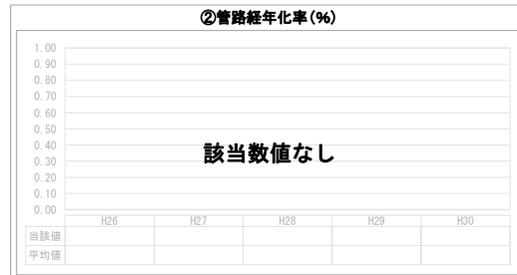
⑦施設利用率は、類似団体平均値より高い数値で推移している為、適正な施設規模で運用していると考えられる。

⑧有収率は、類似団体平均値より若干上回っているが未だ低い数値である為、定期的な漏水調査の実施に併せて老朽管の計画的な更新も必要だと考える。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率は、今年度0.00%となっているが「竹富町簡易水道施設整備事業」に基づき計画的に更新しており、更新率は向上するものとする。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性については、料金回収率や有収率が100%未満で収益的収支比率が赤字である為、老朽化の著しい管路を計画的に更新し有収率の向上を図る必要がある。今後は人口減少に伴い料金収入が減少してくると予想されるため、経営戦略を策定し更なる経営改善に向けて取り組む。また、主要基幹施設等の更新整備に伴い企業債の増大で収支の均衡を保つ為、一般会計からの繰入金への依存度が増すと想定されるが、基金積立や料金改定も検討する等して独立採算を目指す努力が必要である。